

活動報告会という名の

お弁当試食会 & 公開討論会

参加無料

11.29 土

12:00~15:30

ユニコムプラザ
さがみはら

近くの飲食店で延長戦！
語り足りない人、集合。

実績紹介だけじゃ終わらせない。

現場の味を知り、声を聞き、
問いを深める——
体験と対話でつくる報告会。

食べて、
話して、
考える。



お申込みフォーム



認定NPO法人八王子つばめ塾
理事長

小宮 位之



イルム元町スクール
代表

甲斐 昌浩



星の教室
統括

今野 隆



フリーランスとして
楽天モバイル ITエンジニア

Kim desk shin



山梨県立大学/大学院
講師

関屋 光泰



公益財団法人かながわ生き生き市民基金
副理事長

桜井 薫

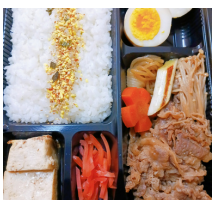
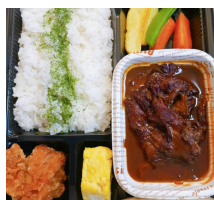


NPO法人izm
フリースポーツファンディング代表

丸山 龍也

お弁当試食

「いい(11)肉(29)の日」だけに
メダカの人気「肉」メニュー！



12:00~12:45

交流を兼ねた試食
自由な歓談タイム

- ・黒毛和牛すき焼き、ローストビーフ 他
- ・ひばり飯、牛すじビーフシチュー 他
- ・パンナコッタ、チョコレートムース 他

活動報告

12:45~13:15

メダカの活動報告

3年間の歩みと支援の広がり
をエピソードを交えてご報告

チームめだか紹介

メダカの食堂・伊勢原八幡台
で活躍する地元有志の皆さん



公開討論

司会進行： NPO法人メダカのお弁当 理事長
鈴木 雄大

第一部 13:15~14:15

学習支援が抱える構造的課題点 と未来をひらく対話

- ・見えにくい学習支援のニーズと現実
- ・世界の視点も交えて、学びの本質に迫る
- ・学習支援の意味を再定義する60分

第二部 14:15~15:15

子どもの居場所が果たすべき 社会的責任

- ・地域インフラ化した“子どもの居場所”の重み
- ・「いいこと」だけでは済まされない現場のリアル
- ・責任と覚悟が問われる支援のこれから

第三部 15:15~15:30 質疑応答



特定非営利活動法人

メダカのお弁当

お弁当提供型子ども食堂

WEBフォームにてお申込みください

- ・参加は無料です。
- ・どなたでも参加できます。
- ・「試食」と「討論会」の通し
での参加が申込条件です。



さがみはら
SDGs
パートナー
さがみはら市社会福祉協議会

【後援】相模原市/市社会福祉協議会

法人化
周年記念企画

3 お弁当試食会 公開討論会

2022年4月、「困っている誰かにお弁当を届けたい」という思いから始まった私たちの活動は、同年11月22日「いい夫婦の日」に法人登記を行い、2025年で3周年を迎えます。

この3年間、地域の子どもたちとご家庭の「日常を支える」ことを軸に、食と学びを通じた支援を続けてまいりました。

昨年は台風の影響で8月に予定していた活動報告会をやむなく中止としました。その分、今年は満を持して、そして張り切った開催となります。

本イベントでは、活動の原点である「お弁当」を実際に味わっていただく試食・交流会とともに、子ども支援の本質的課題に踏み込む公開討論会を実施。

現場に根ざした視点と社会的な眼差しを往復しながら、「これからの地域支援」を多面的に語り合う一日とします。

テーマ① 学習支援が抱える構造的課題点 と未来をひらく対話



申込フォーム
定員46名です
お申込みは
お早めに！

全国に1万ヶ所を超える「子ども食堂」がある一方で、「無料塾」などの学習支援はまだ一般的とは言えません。その背景には、学習支援のニーズが可視化されにくいという課題があります。

特に、支援を必要とする低学力層の子どもたちは日々の生活の中で孤立し、自信を失い、「どうせ無理」と諦めることに慣れてしまっています。

一方で、教育的支援に取り組む活動には少しずつ注目が集まっています。そこには、表面化しづらいニーズと支援のあり方との間に構造的なズレがあるのかもしれません。

私たちは無料の学習支援こそが、「勉強したい」と心の奥で願う子どもたちに開かれた、本質的な学びの場になり得ると考えています。小さな一歩に寄り添い、支える場所をつくりたい。

テーマ② 子どもの居場所が果たすべき社会的責任

子ども食堂の数は、今や全国の公立中学校と同じ規模に達し、地域のインフラとして機能する時代を迎えています。こうした状況のなか、子どもを支える現場も「よいことをしている」だけでは済まされない段階に入りつつあります。

私たち一人ひとりがその社会的な役割と責任について、改めて見つめ直す時期に来ているのかもしれない。

- ・ゴミの問題：事業ごみか家庭ごみか、誰が費用を負担するのか？
- ・支援食材の転売対策はどこまで対応すべきか、その実効性と対費用効果
- ・フードロスを減らすはずの取り組みが、逆に廃棄を生んでしまう現実も
- ・近隣住民との共存～騒音・行列・無断駐停車等の問題
- ・「低価格や無料提供」が抱える倫理的かつ制度上のジレンマ、そして課税問題 等々

[会場]
ユニコムプラザさがみはら
実習室
小田急「相模大野」駅下車すぐ

[参加費]
試食・討論会ともに無料
無料では気が引ける方には
任意の寄付も受付けています

[こちらは任意＆有料]
近隣飲食店で延長戦！
語り足りない、という方大集合
ここからの参加もあり！



- ✓ メダカのお弁当を
実際に食べてみたい
- ✓ 支援の「現場の声」
を直接聞いてみたい
- ✓ 子どもや若者の未来
を応援したい
- ✓ 地域でできる小さな
支援に関心がある
- ✓ 登壇者の本音の話を
聞いてみたい



タブーに
切り込む！

特定非営利活動法人 メダカのお弁当

〒252-0231 相模原市中央区相模原2-12-21

main@keisho.sakura.ne.jp



←「メダカのお弁当」
ホームページ
「メダカの学校」→
ホームページ



<https://medakabento.com/>
<https://medaka-no-gakko.org/>

本イベントの内容は「メダカの活動報告書～その3～特別号」として記録・編集し、参加者および関係団体に配布予定です。また、「メダカの活動報告書～その2～」は当日の会場にて配布します。また、当法人のウェブサイトやSNSでも要点を広く共有し、社会への発信を行います。